

マーク・フィッシャー生前最後の著作 ついに邦訳刊行！

なぜそれが「怪奇的に」見えるのか？ なぜそれが「ぞっとするもの」として認識されるのか？ 彼らは何かの間違いなのか？

H・P・ラヴクラフトやH・G・ウェルズ、フィリップ・K・ディックのような作家、映画監督のデヴィッド・リンチ、スタンリー・キューブリック、クリストファー・ノーラン、ポストパンク・バンドのザ・フォール、ブライアン・イーノ、彼ら「怪奇的」で「ぞっとする」表現者たちに、私たちがいままで世界を理解するために使ってきたカテゴリーが有効ではないとしたら、では、彼らから導き出せる思想とは……優雅な文体で紡がれる思想家マーク・フィッシャーのもう一冊の代表作、冴え渡る考察がスリリングに展開する文化エッセイ。



※原著書影

委託条件

12/2 発売

搬入日以降順次出荷



【著者】マーク・フィッシャー
【訳者】五井健太郎
【ページ数】240頁
【判型】四六判

ISBN		商品名	価格	ご注文数
978-4-910511-31-3	新刊	怪奇的なものとぞっとするもの ——音楽・小説・映画・文化エッセイ集	2,500円 +税(予定)	

ご注文は日販アイ・ピー・エスまで
FAX: 03-5802-1891

TEL: 03-5802-1859

本誌内容についてはele-king編集部まで
TEL: 03-5784-1256
e-mail: info@ele-king.net



Bookインタラクティブからも予約のご注文をいただけます。

貴店名		ご注文日
		月 日
		ご担当者様名
ご連絡先	TEL:	
	FAX:	